

旧大林組神戸支店外壁保存

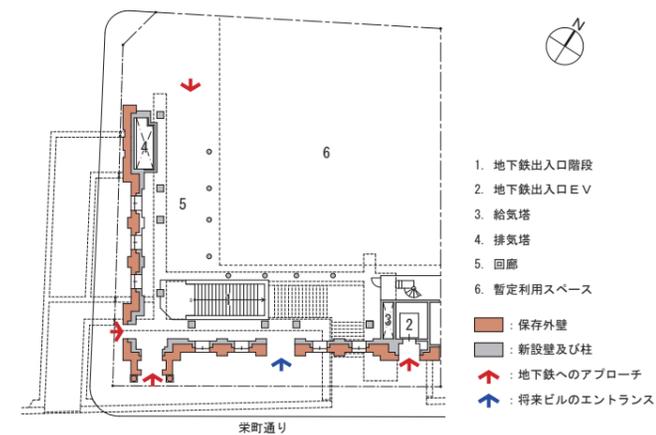
No. 03-025-2012作成
改修・保存
その他

発注者	株式会社 大林組	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO ₂ 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社 大林組 OBAYASHI CORPORATION	E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社 大林組	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他	

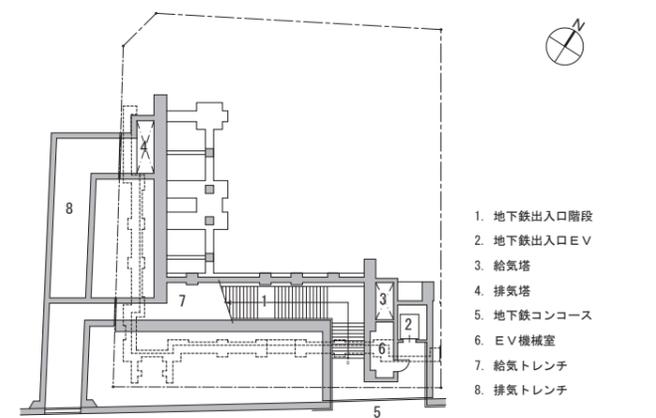
歴史的建造物の保全と活用

阪神大震災による被災

本建物は、明治41年に辰野金吾博士の設計になり、旧第一銀行神戸支店として竣工した。レンガの赤地に御影石の白で縁取られたコントラストの鮮やかな表情は、辰野式と呼ばれる博士円熟期の特徴をよくとどめていたが、1995年に起きた阪神大震災の強烈な揺れにより、他の歴史的建造物と同様、倒壊寸前の甚大な被害を負ってしまう。



配置図・1階平面図



地下1階平面図



保存された栄町通りの外壁



被災の状況と傾斜補正実験の様子

みなと元町駅として再生

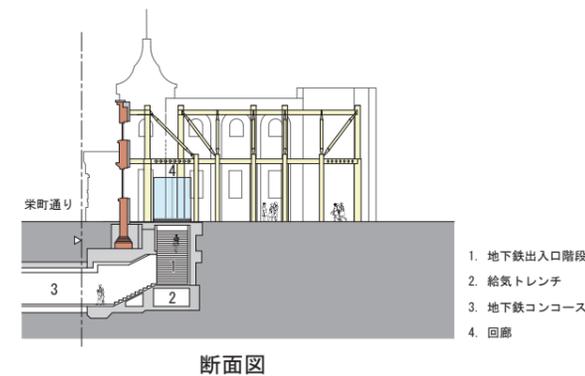
被災建物は一時解体も検討されたが、行政、地元住民、所有者、設計者が一体となって知恵を集め、地下鉄海岸線「みなと元町駅北西出入口」として蘇らせたものである。解体の一步手前の状況から、駅出入口という新たな機能を付与することで、地域サービス拡充とともに歴史的景観の保全（2面の外壁保存）を図ったものである。



保存外壁ディテール

将来開発の可能性

保存外壁を受けるパトレス架構の下部には、一部先行工事（杭、基礎など）を施している。歴史的建造物の外壁保存と将来の土地利用の高度化を共存させるしくみを取りこむことにより、事業主の外壁保存への意思決定をサポートしている。



断面図

設計担当者

統括：小林照雄／建築：刃金国雄／構造：角田耕一

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮（歴史的建造物の保全）
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮（駅舎利用による地域サービスの拡充）
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減（既存建築躯体の継続利用）



保存壁とパトレス架構



将来建物のエントランス



地下鉄出入口



地下鉄へのアプローチ

建物データ

所在地	兵庫県神戸市
竣工年	2000年
敷地面積	863m ²
延床面積	199m ²
構造	煉瓦造、RC造
階数	地下1階、地上1階